

◆ 【日本体育協会総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン】
◆ 第 72 号 平成 23 年 10 月 20 日発行

このメールは本会HPより登録された方々へ配信させていただいております。
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。
現在の登録件数：3,689 件

*****☆目次☆*****

- 【1】 <特集> 安定基盤の「会員数 1,000 名」に至るには
 - 行政や地域スポーツ組織と強力な連携・協働関係を築いた運営モデル
(NPO 法人 スポネットせいろう 新潟県聖籠町)
 - 自治組織と学校の連携による年予算 1,000 万円の運営モデル
(友遊いずみクラブ 栃木県宇都宮市)
 - 地元の民間スポーツ施設・企業を巻き込んだ運営モデル
(高崎スポーツクラブ 群馬県高崎市)
- 【2】若手クラブ仕事人の夢メッセージ (池 史直さん)
- 【3】わがクラブの人気プログラム「のびたくん教室」
～NPO 法人朝日丘スポーツクラブ (愛知県豊田市)～
- 【4】東日本大震災被災地 応援情報
 - 半九レインボースポーツクラブ (宮城県宮崎市) の支援活動
 - 柵原星の里スポレク倶楽部 (岡山県美咲町) の支援活動 (再掲)
 - 「スポーツこころのプロジェクト 笑顔の教室」がスタート (再掲)
- 【5】助成金情報 (応募締切 11 月 30 日までのもの/再掲)
- 【6】メールマガジン次号 (11 月 21 日) の予告

★お知らせ★

- メールマガジンのご意見・感想、ご希望をお寄せください！
- 笹川スポーツ研究助成募集のご案内
- あくしゅ、あいさつ、ありがとう
～フェアプレイで日本を元気に！～キャンペーン
- 「スポーツ宣言日本」について (再掲)
- 公式メールマガジンへの登録をお勧めください！

【1】<特集> 安定基盤の「会員数1,000名」に至るには



■会員が1,000名以上いなくても素晴らしいクラブはありますが、この特集では、会員が1,000名以上いることによって、地域でクラブの「存在感」が増すことに注目します。

「存在感」は、行政からの受託、企業協賛、指導者からの指導依頼、様々な人・団体からの協力、などの可能性を高めます。

会員数1,100名～1,300名、それぞれ特徴のある3つの事例から、1,000名に至る仕組みやプロセス、運営ポイントなどを学びます。

ぜひご覧ください！

●行政や地域スポーツ組織と強力な連携・協働関係を築いた運営モデル

▼NPO法人 スポネットせいらう（新潟県聖籠町、町人口14,000人）

http://www.japan-sports.or.jp/local/news/uploadFiles/20111020101342_4.pdf

●自治組織と学校の連携による年予算1,000万円の運営モデル

▼友遊いずみクラブ（栃木県宇都宮市、地区人口10,000人）

http://www.japan-sports.or.jp/local/news/uploadFiles/20111020101343_5.pdf

●地元の民間スポーツ施設・企業を巻き込んだ運営モデル

▼高崎スポーツクラブ（群馬県高崎市、地区人口25,000人）

http://www.japan-sports.or.jp/local/news/uploadFiles/20111020101343_6.pdf

【2】若手クラブ仕事人の夢メッセージ（池 史直さん）



◆総合型クラブの仕事を本業としている若者を紹介する連載です。若さは実年齢と関係ありませんが、ここではおよそ35歳以下。

今月は「NPO法人よりづか☆ちよいスポ倶楽部」（北海道北広島市）のクラブマネージャー 池 史直さんを紹介します。

池さんは元ラグビー選手。ヨガやそば打ちまで、経験したことのない活動がいろいろあって、好奇心からどんどん総合型クラブの魅力にはまっていったそうです。

地域の人々が集まる場があり、スポーツの話題で楽しく盛り上がる環境を作ることが、池さんの夢です。素敵ですね！

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/local/news/uploadFiles/20111020102610_4.pdf

▼「NPO 法人よりづか☆ちよいスポ倶楽部」のHPはこちらから

<http://www.choice-sports.net/>

【3】わがクラブの人気プログラム「のびたくん教室」

～NPO 法人朝日丘スポーツクラブ（愛知県豊田市）～



■6月からの新連載「わがクラブの人気プログラム」は、
人気のある（人が集まる、好評である、など）プログラムを
その魅力や人気のポイントも含めて、隔月で紹介します。

朝日丘地区の子どもたちの体力低下に危機感を覚えたクラブでは、
クラブの事業にコーディネーショントレーニングを導入しました。

現在は、各小学校で参加者を募集し、学校との連携事業として
授業後の体育館を使用できています。保護者からも好評を得て
参加者も年々増え、クラブの事業としても軌道に乗ってきました。

「のびたくん教室」のネーミングがユニークで親しみがもてますね。

詳細は以下から、ぜひご覧ください！

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/local/news/uploadFiles/20111020103110_4.pdf

【4】東日本大震災被災地 応援情報

●半九レインボースポーツクラブ（宮崎県宮崎市）の支援活動

クラブの澤山貴義理事長は、震災2日後に、宮崎から片道
約1,700km、28時間かけて仙台市に支援物資を届けました。

昨年の口蹄疫被害等で多くの支援を受けた感謝の意を込めて
「ありがとう宮崎チーム」を組むなどして活動を継続しています。

県特産品等を仮設住宅に届けることや、子どもたちの受け入れなども検討中。背伸びせず今できることを仲間に呼び掛けています。

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/local/news/uploadFiles/20111020103245_4.pdf

●柵原星の里スポレク倶楽部（岡山県美咲町）の支援活動（再掲）

http://www.japan-sports.or.jp/local/news/uploadFiles/20111005100719_4.pdf

●「スポーツこころのプロジェクト 笑顔の教室」がスタート（再掲）

<開催地からの御礼のフラッグはこちらから>

<http://www.japan-sports.or.jp/news/newsDetail.asp?newsNo=690>

<第1回目教室はこちらから>

<http://www.japan-sports.or.jp/news/newsDetail.asp?newsNo=683>

<記者発表はこちらから>

<http://www.japan-sports.or.jp/news/newsDetail.asp?newsNo=682>

【5】助成金情報（応募締切 11 月 30 日までのもの／再掲）

▼東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド（GBFund）
（11 月 30 日まで）

http://arts-fukkou.blogspot.com/p/blog-page_11.html

▼年賀寄附金及びカーボンオフセット年賀寄附金配分団体の公募
（11 月 30 日まで）

<http://blog.post.japanpost.jp/csr/2011/08/241011130.html>

【6】メールマガジン次号の予告

<特集> 困った！ こんな時、どうする？

<連載> アドバイザーのおススメ・クラブ、

「アクティブ・チャイルド・プログラム」紹介 など

★お知らせ★

●メールマガジンのご意見・感想、ご希望をお寄せください！

いつもご愛読いただき、ありがとうございます。

ご意見・感想はもちろん、「こんなテーマや情報を取りあげてほしい」ということがありましたら、以下お気軽にお寄せください！

▼送付先メールアドレスはこちら

sc-info@japan-sports.or.jp

●笹川スポーツ研究助成募集のご案内

「Sport for everyone」をスローガンに、スポーツ振興に必要な情報の収集・分析・発信、政策提言を行っている笹川スポーツ財団より、わが国のスポーツ振興に寄与する優れた人文・社会学領域の研究活動を支援する助成が募集されました。

※研究者（大学教員、大学院生など）と総合型地域スポーツクラブが共同研究を行う場合などが対象となります。
詳細は、募集要項をご参照ください。

申請期間： 2011年11月1日（火）～11月30日（水）

研究期間： 2012年4月1日（日）～2013年2月28日（木）

助成額： 一般研究（年齢制限なし）／100万円（上限）

奨励研究（39歳以下）／50万円（上限）

応募資格：

1. 2012年4月1日より研究完了日まで、日本の所属機関で研究活動に従事する者。
2. 過去2年間のうちに専門分野の学会等で研究発表の実績がある者

▼募集のご案内

http://www.ssf.or.jp/grant/index_2012.html

.....

.....

●あくしゅ、あいさつ、ありがとう

～ フェアプレイで日本を元気に！ ～キャンペーン

日本体育協会では、社会におけるスポーツの価値をより高めていくこと、スポーツ界を中心に「フェアプレイ」を社会全体に浸透させ、日本を元気にしていくことを目的に「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを開始し、専用 WEB サイトを公開しています。

フェアプレイキャンペーンは、おかげさまで本会加盟団体や総合型クラブ関係者・全国の指導者・少年団関係者をはじめ多くの共感の声をいただいております。これもひとえに、多くの皆様のご協力をいただいたおかげだと深く感謝しております。

このたび、張富士夫会長をはじめ本会役員のフェアプレイ宣言の様子を公開しましたのでぜひご覧下さい。

またフェアプレイ宣言されていない方はぜひ専用 WEB サイト上でフェアプレイ宣言をお願いします。

なお、フェアプレイ宣言を行っていただくと宣言書のダウンロードや各種画像データをご自身のブログ等でもご利用いただけます。是非ご活用ください。

▼フェアプレイ宣言等、詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/fair/>

▼本会役員のフェアプレイ宣言の様子ははこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/fair/people/index.html>

.....
.....

●「スポーツ宣言日本」について（再掲）

「スポーツ宣言日本」については平成 23 年 7 月 15 日に開催された日本体育協会・日本オリンピック委員会創立 100 周年記念シンポジウムにて採択されました。

この宣言は、嘉納治五郎氏が大日本体育協会の創立に際し示した趣意書の志を受け継ぎ、これからの新たな 100 年に向けた 21 世紀のスポーツの意味と価値を展望する視点から、この記念すべき節目に、全国 4 会場（福島、京都、広島、東京）で開催したシンポジウムにおいて得られた成果と多くの皆様から寄せられたご意見も踏まえ、21 世紀におけるスポーツの使命として提言したものです。

▼「スポーツ宣言日本」詳しくはこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/uploadFiles/20110804142538_1.pdf

.....
.....

●公式メールマガジンへの登録をお勧めください！

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。

おかげさまで、現在約3,600の登録をいただいております。

このメールマガジンは、関係者はもちろん、クラブに少しでも
関心のある方、会員の方、どなたでも無料でお送りいたします。

メールアドレスをお持ちであれば、すぐに登録できます。

個人情報は一切入力しません。退会も簡単にできます。

登録方法は下記にありますので、本メールマガジンの登録を
周りの方にお勧めください。よろしく願いいたします。

【公式メールマガジン登録方法】

- 1) 日本体育協会 HP のトップページの右にある「総合型地域
スポーツクラブ公式メールマガジン」をクリック
- 2) 「登録・退会」をクリック
- 3) 「登録する」をクリック
- 4) 登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力（2回）
- 5) 登録確認画面へ（完了）

▼メールマガジンの登録（無料）はこちらから簡単にできます。

周りの方にもぜひ登録をオススメください！

<http://www.japan-sports.or.jp/local/mail/index.html>



☆☆☆ メール配信サービスのご案内 ☆☆☆



◆メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから◆

<http://www.japan-sports.or.jp/local/mail/>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆

Copyright (c) Japan Sports Association. All rights reserved